

清水まちづくり交流室から



～季節を花で感じませんか～ 「高平遊水地花公園」

高平台校区では坪井川緑地公園内の堤防部分を「高平遊水地花公園」として整備されています。以前はいばらの藪だった場所を3-3町内のボランティア隊を中心に、老友会や高平台小学校PTA他の協力も得て開墾、整備、植栽を行ってこれ、8月には手作りの立派な看板も建ちました。

昨年春には「サクラマンテマ」が咲き、夏には「ひまわり」、秋には「コスモス」に「菊」、冬は「鶏頭」がみなさんの目を楽しませました。これからの季節は「ラッパスイセン」から始まり、「菜の花」「なでしこ」「しょうぶ」と次々に花を咲かせる予定とのこと。季節を身近に感じられるのではないのでしょうか。

放っておくとすぐに草が伸びてしまう花公園は継続して整備が必要で、ご苦労も多いのですが、校区住民の憩いの場、まちづくりのシンボルとしてますますきれいになっていくことでしょう。



北部まちづくり交流室から

中学生と赤ちゃんのふれあい交流

赤ちゃんに触れ合うことによって、中学生の情緒を育てようと、北部中、まなざしネット川上、西里校区民生児童委員協議会、北部東子育て応援隊が実施している「赤ちゃんとのふれあい交流」が、12月10日に北部中学校で行われました。この事業は中学2年生を対象に実施しており、今年で3年目になります。

この日は、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、お母さんの話を聞いたり、また、妊婦体験ジャケットを着用してお母さんの大変さを実感しました。抱っこするとニコニコ顔の赤ちゃんもいれば、抱いたとたん泣き出す赤ちゃんもいて、生徒たちは、「子育てが大変だということがわかり、貴重な体験をすることができてよかった」「自分の親も大変な苦労をして産み、育ててくれたことがわかり、感謝しています」などの感想がありました。学校からも「とてもいい経験をさせてもらっているので、今後も継続していきたい」と話されました。



龍田まちづくり交流室から

身近な森の音楽会！

10月19日、龍田プレイパークで、龍田校区まちづくり協議会及び校区自治協議会主催の第10回身近な森の音楽会が開催されました。

この音楽会では、世界的に活躍されているクラリネット奏者リチャード・ストルツマン氏と熊本県出身のマリンバ奏者ミカ・ストルツマン氏、龍田中学校吹奏楽部、龍田ジャズ部等、多くのグループが出演され、迫力ある演奏に大きな拍手が鳴り響いていました。

主催者は、「この音楽会を龍田校区のまちづくりの大きな柱として、音楽を通して感動を共有し、世代を越えて皆さんの笑顔の輪を広げたい。そして、子どもたちには、トップアーティスト達の生の演奏に身近に触れることで、夢を持ち、それをかなえるきっかけにしてほしい」と話されていました。



この日は、桜の木の植樹や「竹あかり」の催しも同時開催。ここで使われた竹灯籠は、空港の「そらあかり」からお城まつりの「みずあかり」へ、そしてさらにこの「竹あかり」へと引き継がれたもので、会場を幻想的なあかりで包み込んでいました。龍田小学校6年生の岩下さん・片島さんは、「この音楽会が楽しみで、素晴らしい演奏を聴きながらパザーでおいしいものを食べられるのはgood」と満足そうな笑みを浮かべていました。

植木まちづくり交流室から



北区イルミネーション ～第二回北区キラキラ大作戦～

12月8日から1月17日まで植木文化センターにおいて、昨年度に引き続き植木町・北部両商工会青年部によるイルミネーションが点灯されました。「元気な植木！つながる北区！」を合言葉に実施されたもので、手作りによる光の世界が訪れたみなさんを魅了。また、山東保育園の園児のみなさんが作ってくれた可愛らしい飾り物の数々は、周囲を温かく包み込んでくれました。

初日の点灯式には幸山市長も出席し、サンタクロースに扮した石原区長による自転車発電機で点灯開始。ジュニアコーラスanimato(アニマート)のみなさんがクリスマスソングメドレー合唱で華を添えました。

企画した商工会青年部のみなさんは「まだまだ規模は小さいが、いずれは北区全体に光の輪を広げていきたい」と抱負を語っていました。



お知らせ

♪ 北区のイチオシ!! お出かけ情報 ♪

春の北区はミドコロ満載! 八景水谷公園や田原坂公園の桜は有名ですが、穴場は小萩園。63種類、約300本の桜が皆さんを華やかにお出迎えします。八重の黄桜、薄紅の天の川、淡紅色の二度桜なんて珍しい品種もあるそうです。そして忘れてならないのが立田山。湖面に映る桜はそこはかとなく、幽玄の美そのものです。北区の春を心ゆくまで、ご堪能ください。お出かけの際は、脇見運転や不法駐車など近隣の方のご迷惑にならないようお気を付けください。是非、皆さんのお近くの穴場の桜スポットをこっそり教えてください。

ほっとひといき

「北区ひまわり通信」第2号、いかがだったでしょうか。今回は災害のときに「自分の身は自分で守る」ための地域版ハザードマップづくりの現場取材しました。まだ取り組んでいない町内の皆さんは興味を持っていただければ幸いです。

また、今年度この通信は町内自治会での回覧ほか、区役所及び出張所、コミュニティセンターでの配布をしましたが、来年度は各戸配布を予定しています。皆さんのより身近な情報手段となりますよう努めてまいりますので、どうぞよろしく願います。(H)

ホームページ

熊本市北区役所

検索

フェイスブック



いいね! してね

【編集・発行】熊本市北区役所総務企画課

〒861-0195 熊本市北区植木町岩野238-1 TEL.096-272-1110 FAX.096-272-6912

E-mail: kitasoumukikaku@city.kumamoto.lg.jp



※区の花「ひまわり」絵画展に北区の幼児・児童の皆さん468名から応募がありました。写真は色とりどりの、楽しいひまわりの絵を描いてくれた城北小学校1年生89名の皆さんです。

北区の「シンボルマーク」が決定しました!!



全国に公募したところ、青森県から鹿児島県まで224点の応募がありました。その中から区民投票やまちづくり懇話会での厳正な審査を経て、新潟県三条市在住の三巻保証さんの作品に決まりました。作品の制作意図は「ず～っと住みたいまち北区、そのものを表現してみました。『北』をデザイン的にし、下には顔を入れ、楽しい北区をイメージしました」とのことです。

今後は、「北区の顔」として区民の皆さんに親しんでいただけるようPRしてまいりますので区の花「ひまわり」同様、どうぞよろしく願います。

北区長 石原 純生

